

8月26日(木曜日)

ドル/円

## 「日銀総裁不在」で追加緩和期待が後退

### 25日(水)の主な推移

チャート: 30分足 25日(水)朝6時 ~ 26日(木)朝6時

NYダウ平均

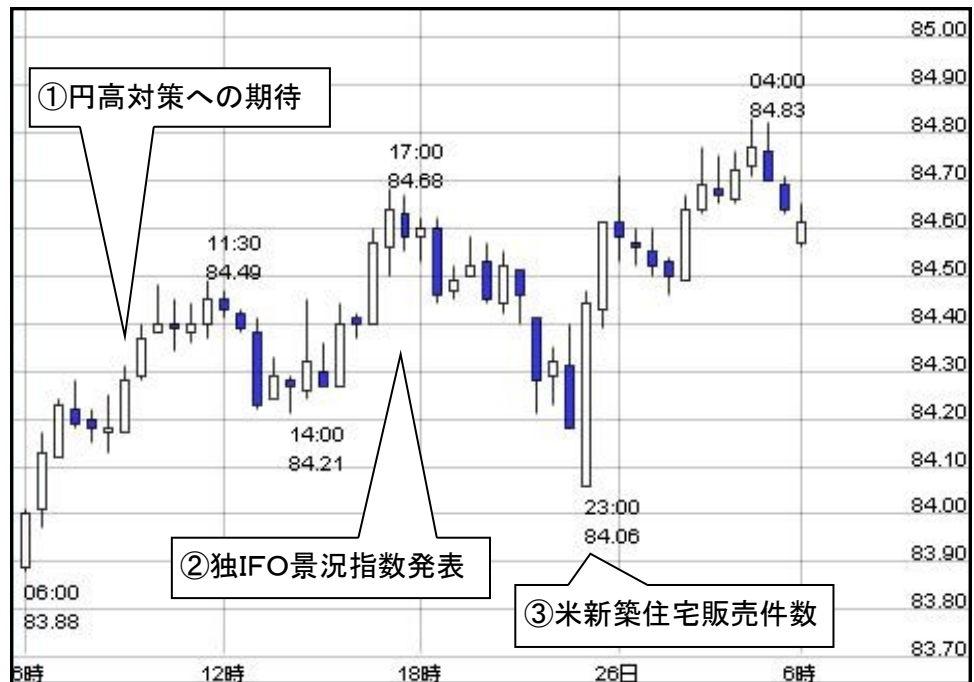
10060.06ドル  
(+19.61ドル)

米長期金利  
(10年債利回り)

2.5411%  
(+0.0460%)

NY原油先物

72.52ドル  
(+0.89ドル)



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、( )は前日比  
出所: 外為どっとコム

①

日本経済新聞が「日銀は追加金融緩和の検討に入った」「財務省は日本単独の円売り介入も視野に」などと報じたことを受けて早朝から円売り優勢の展開。また、「菅総理、野田財務相、仙谷官房長官が昼に円高について協議する」と伝わると、円高対策への期待からドル/円は円安・ドル高で推移した。もっとも、13時過ぎに野田財務相が「為替介入についてはコメントしない」「(為替について)適切な行動をとる」「市場動向を注意深く見守って欲しいと菅首相から指示があった」などと発言し、具体的な円高対策は出なかったことから、発言後にドル/円は小幅に下落した。

②

17時に発表された独IFO景況指が市場予想を上回る強い結果だったことから、ユーロ/円でユーロ高・円安が進行すると、ドル/円でも84.68円まで円安が進んだ。ただし、その後は欧州株が下げ幅を拡大する中でユーロ/円が反落すると、ドル/円も連れて値を下げた。

③

21時30分に発表された米7月耐久財受注が前月比+0.3%(前回:-0.1% 市場予想:+3.0%)、輸送用機器を除いた前月比は-3.8%(前回:+0.2%、市場予想:+0.5%)と、予想を大幅に下回る結果となった。さらに、23時に発表された米7月新築住宅販売件数は27.6万件と、市場予想(33.0万件)を大幅に下回り、1963年の統計開始以来、過去最低を記録した。これを受け、ドル/円は23時過ぎに84.06円まで下落した。ただ、その後は米国株に値ごろ感からの買いが入り、NYダウ平均が急反発すると、ドル/円もすぐに円売り優勢となり、日本時間26日未明には84.83円の高値を付けた。

巻末の特記事項を必ずお読みください。

### 上昇要因(ドル高・円安)

- ・米国経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加緩和観測
- ・日本の財政赤字への懸念

### 下落要因(ドル安・円高)

- ・米金融規制案への懸念
- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米国経済の回復の鈍化
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり

### 本日の見通し

本日の予想レンジ: 83.80- 85.20円

本日の為替市場では手掛かり材料が少なめで、米国の新規失業保険申請件数のみと言っても良いだろう。日本にしても、日銀の白川総裁が米国での会議出席のため本日から国内におらず、今週は日銀の臨時会合が行われる公算は小さい。従って、要人発言には引き続き注意を要するものの、本日はおおむね主要国株価がドル/円の方向感を決定づける要因となる見通しだ。

株については、昨日のNYダウ平均が経済指標に弱い結果が立て続けに出たにも関わらず、最終的にプラスで引けた。これについては「値ごろ感からの買い」とであるとみられるため、株が下落基調を脱したとは考えにくい。本日の日経平均株価については一旦「NY株反発」を好感する形で上昇し、ドル/円もそれに連れて円売り優勢になる可能性がある。ただ、積極的に円売りに動くにはリスクに対する警戒感が依然として強い。上値は限定されよう。(ジェルベズ)

### 本日から明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
8/26(木)	21:30	◎	(米) 8/22までの週の新規失業保険申請件数	50.0万件	49.0万件
	26:00	○	(米) 7年債入札(290億ドル)	—	—
8/27(金)	08:30	○	(日) 7月全国消費者物価指数[前年比]	-0.7%	-1.0%
	08:30	○	(日) 7月全国消費者物価指数[前年比:除生鮮]	-1.0%	-1.1%
	08:30		(日) 7月失業率	5.3%	5.3%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com